

気象学会創立百周年記念事業計画書（案）

昭和56年 5月28日

記念事業の当初の計画では950万円で、そのうち550万円が昨年度までに積み立てられた。残額の400万円は55、56年のそれぞれの年度で200万円積み立てる予定であった。

記念事業に関する計画を具体的に検討した結果、「気象集誌」特別号の頁数が予定より増加した等により、予算が不足することが見込まれた。

このため当初の計画に100万円を追加して1,050万円で記念事業を行うこととした。

記念事業の計画案は次のとおりである。

項 目	内 容	予算額(万円)
天 気 特 別 号	4月号をあて、座談会20頁、レビュー40頁、通史20頁、総目録80頁の計160頁。通常号分200万円を加えて発行する。	310
気象集誌特別号	400頁、invited paper が予想より多くなり、50編となった。	410
記 念 式 典	記念講演講師謝礼(2名)20万円、会場費20万円、功労者への記念品10万円、懇親会補助20万円、雑費10万円。	80
記 念 講 演	Ocean Impact Study Conference の参加者から2名は仙台・札幌、他の2名は大阪・福岡で講演を依頼。交通費宿泊料40万円、支部へ助成金40万円。	80
Tropical Meteorology	会議準備費(通信費等)10万円、会場費(5日間)等50万円、Reception費用補助10万円、雑費20万円。	90
其 他	気象集誌特別号編集費5万円、通史編集のための賃金20万円。	25
予 備 費		55
計		1050

正 誤 表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

巻 号	頁	行	誤	正
28. 7	418	右 26	金 吉 正 郎	金 光 正 郎
28. 7	460	下 2	価 格 木 定	価 格 未 定
28. 7	460	下 5	時 田 達 志	時 岡 達 志